

2022年7月19日

各 位

第52期定時株主総会における会社提案第5号議案の分析について

株式会社サガミホールディングス（以下、「当社」）は、2022年6月23日開催の第52期定時株主総会（以下、本総会という）における議案において、第5号議案「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）の継続の件」（以下、本議案という）を上程いたしました。当該議案は可決されましたが、議決権行使賛成比率が78.3%に留まりました。

当社はこの結果を真摯に受け止め、反対の理由を整理したうえで、今後の対応策について検討いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

記

1. 反対の主な要因

本議案につきましては、議決権行使助言会社である「ISS」及び「グラスルイス」が当該議案に対して反対行使を推奨している影響が、一定程度あったものと推察しております。特に、「ISS」が反対推奨とするレポート内の『買収防衛策の導入及び更新に係る形式審査』に記載されている項目のうち、「特別委員構成全員のISSが求める独立性」及び「招集通知の総会4週間前までに証券取引所のウェブサイトに掲載」を満たしていなかったことによる影響があったと推察しております。

なお、当社の特別委員会委員につきましては、5名中4名は「ISS」の独立基準を満たしております。また、招集通知につきましては、3週間前に証券取引所のウェブサイトに掲載しております。

2. 今後の対応

本議案は、本総会の招集通知に記載している通り、当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保・向上させることを目的としております。

当社は、施策などについて株主・投資家の皆さまとの対話を進め、ご理解とご支援をいただけるよう、努めてまいります。

以上